

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	20-011	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b>		
<p>Is There a Link between Different Types of Alcoholic Drinks and Obesity? An Analysis of 280,183 UK Biobank Participants</p> <p>様々な種類のアルコール飲料と肥満の間に関連性はあるか？280,183 人の英国バイオバンク参加者の分析</p>		
<b>執筆者</b>		
Inan-Eroglu E, Powell L, Hamer M, O'Donovan G, Duncan MJ, Stamatakis E.		
<b>掲載誌</b>		
Int J Environ Res Public Health. 2020 Jul 17;17(14):5178. doi: 10.3390/ijerph17145178.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
肥満、肥満症、飲酒、アルコール飲料		32709071
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> アルコール飲料の種類と肥満との関連について、英国バイオバンクデータを用いて調査した。</p> <p><b>方法：</b> 大規模前向きコホート研究である英国バイオバンクのベースラインデータを用いて、2006-2010年に回答を得た40-69歳の成人のうち（回答率5.5%）、欠損値のある者、BMI 18.5 kg/m<sup>2</sup>未満、座位時間が妥当でない者を除外した280,183人を分析対象とした。アウトカムは、生体インピーダンス法で測定した体脂肪率、調査員が測定した身長と体重から算出したBMIとした。また自己申告により、週当たりの平均飲酒量を調査した。1単位=10ml無水アルコールとし、対象者を①非飲酒者、②過去飲酒者、③公衆衛生ガイドライン範囲内の飲酒者（女性:&lt;14単位/週、男性:&lt;21単位/週）、④危険飲酒（女性:14-34単位/週、男性:21-48単位）、⑤有害飲酒（女性:&gt;35単位/週、男性:&gt;49単位/週）に分類した。一般化線形モデルにより飲酒量とBMIおよび体脂肪率との関連を分析した。</p> <p><b>結果：</b> ガイドライン範囲内の飲酒者は、非飲酒者と比較して、BMIが1.34 kg/m<sup>2</sup>（95%信頼区間[CI]: 1.42, 1.26 kg/m<sup>2</sup>）低かった。一方、飲酒量と体脂肪率に有意な関連は認めなかった。①赤ワイン、②シャンパン、③フォーティファイドワイン飲酒者は、飲んだことがない者と比べ、BMIが低かった（①-0.75 kg/m<sup>2</sup> [95% CI: -0.78, -0.72 kg/m<sup>2</sup>]; ②-0.48 kg/m<sup>2</sup> [95% CI: -0.52, -0.45 kg/m<sup>2</sup>]; ③-0.24 kg/m<sup>2</sup> [95% CI: -0.29, -0.18 kg/m<sup>2</sup>])。④ビールと⑤リキュール飲酒者は、飲んだことがない者と比べ、BMIが高かった（④0.18 kg/m<sup>2</sup> [95% CI: 0.14, 0.22 kg/m<sup>2</sup>]; ⑤0.64 kg/m<sup>2</sup>, [95% CI: 0.61, 0.68 kg/m<sup>2</sup>])。</p> <p><b>結論：</b> 飲酒と肥満のリスクの増加との間に関連性は見つからなかった。</p>		